

# 年頭のごあいさつ

幌延町長 宮本 明



新年あけましておめでとうございます。

平成25年の輝かしい新春を、町民皆様、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、町政における不祥事が発覚し、町民皆様の信頼を裏切るとともに、ご迷惑をおかけしました。職員一同、二度とこのようなことがないように、一層の町政の透明化を図りながら職務に精励してまいり所存ですので、ご理解とお力添えを賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

さて、昨年は4年に1度のスポーツの祭典「ロンドンオリンピック」が開催され、日本選手団は史上最多のメダルを獲得してくれました。世界と互角に競い合い、トップに立てる日本人が増えていることは、私たちの誇りであり、自信につながります。その一方で、長引く景気の低迷、隣国との領土問題、原子力発電所の停止に伴い大きな課題となっているエネルギー問題など、我が国を取り巻く環境は依然厳しく、先行き不透明な状況にありま

す。

そのような中、昨年暮れには衆議院議員総選挙が行われ、あわただしい年の瀬でもありました。

幌延町におきましても、平成24年度からスタートしました中学生までの医療費助成制度や、プレミアム商品券発行による地域振興事業への支援、冬の生活支援事業などのソフト事業を進めてまいりました。医療費の助成や冬の生活支援といった事業は、平成25年度以降も継続していくこととしています。

深地層研究センターの研究につきましては、現在、地下350mまで掘削が進められており、高レベル放射性廃棄物の安全な地層処分のための地下環境の研究が進められています。幌延地圏環境研究所での研究等ともあわせ、これら研究成果が更なる地元の活性化に結び付くことを期待しています。

また、国道40号の天塩防災事業、道道稚内幌延線の改良事業、町道のバリアフリー化など、道路事業についても、順調に進んでおり

ます。

本年も、町民の皆様の安心と安全、住んでいて良かったと思えるまちづくりのため、認定こども園の実施設設計、問寒別生涯学習センター及び消防問寒別分遣所の基本設計などを引き続き進めるほか、町内の小中学校の補修計画調査などを実施いたします。学校の補修計画調査は、児童生徒の安全対策のための学校の大規模改修に向けた調査です。また、本町の基幹産業である酪農の持続的発展のため、新規就農者の支援制度を構築いたします。農地等の取得や賃借に対する補助を行い、幌延町で新たに農業を営もうとする方の経営安定を図るものです。

この冬も、節電などのご協力をお願いをしているところであり、町民皆様にとっても公私共に我慢を強いられる状況となっておりますが、このような時だからこそ、お互いに助け合い、理解しあって協働のまちづくりを推進して参りたいと思っております。

新しい年が、明るく、笑い声の絶えない1年であることを信じ、町政を進めてまいりますので、町民の皆様もまちづくりにご参加をお願いいたします。

平成25年が幌延町と町民皆様にとって、素晴らしい1年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成25年 元旦